

第56回新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

1 日時：令和4年3月18日（金） 14時10分～14時30分

2 場所：本庁3階 第三会議室

3 出席者：資料席次表参照

4 議事概要

[市長]

本日の岡山市の新規感染者は193人。減少傾向にあるものの緩やかな減少にとどまっている。

本日は、今後の対応について協議を行いたい。

(1) 新型コロナウイルス感染状況等について【保健福祉局】

[感染症対策担当局長]

・感染状況・療養状況の分析

3月13日時点の状況。多数の感染者がまだ発生しており、最大限の警戒が必要。先週に引き続き、1週間あたりの感染者は減少しているが、ほぼ横ばい。1週間平均では216.1人の届出。

感染者の療養状況については、減少スピードが大変緩やかで、高止まりの状況。療養者も1500人程度で下げ止まっている。入院患者はピーク時の約4分の1程度に減少した。

・感染者の年代比較

1週間毎のデータ。感染者の全体数は減少しているが、6～15歳への感染割合が高く、高齢者への感染割合は減少している。

まん延防止等重点措置が解除され、人流増加が起こっている。20代、30代の感染者の増加に注意が必要。これまでも、20代、30代が感染し、家庭内に持ち込むことで、年少者や高齢者へ感染が拡大した傾向がある。家庭にウイルスを持ち込まないよう、引き続き、基本的感染防止対策を徹底してもらいたい。

・応援フェーズ

現在、保健所の応援フェーズはVとなっている。BCPは現在も継続中ではあり、他の部署からは、引き続き応援いただくこととなるが、ご協力よろしく願います。

・自宅療養者の健康観察の変更

これまで、自宅療養者への健康観察は、保健所が原則毎日行っていた。国は、感染力が強く軽症者が多いというオミクロン株の特徴に鑑み、重症化リスクの高い陽性者の健康状態を重点的に確認することや、健康観察を行う医療機関を拡充していくよう方針を示している。これを受け、医療機関の協力の下、自宅療養者への健康観察は、4月1日の届出以降、原則、陽性者のPCR検査を実施した医療機関が行う。健康観察の頻度は、陽性者の病状や年齢、基礎疾患の有無、同居家族の有無などを基に、各医療機関が決定する。

例えば、一人暮らしの高齢者には毎日行う。若い軽症者で同居家族がいる場合には、体調に変化があった場合に本人や家族から医療機関に連絡するよう、あらかじめ説明しておき、医療機関から連絡は行わない場合などが考えられる。医療機関が健康観察を実施できない場合は、引き続き保健所が行う。

陽性者の病状等に応じて健康観察の頻度が変わるが、これまでどおり、不安な場合や相談があれば、岡山市受診・相談センターに連絡いただきたい。

・医療機関での書類の配布

PCR 検査を受けた方に、仮に、陽性となった場合にどのように連絡が入るか、また、同居家族の方はどうすればよいのかの概略を記載した書類を、医療機関で配布してもらう。陽性者本人には、医療機関からの健康観察の他、保健所からの連絡も必ず入る。同居家族の方には、自宅待機をお願いする。

・濃厚接触者の特定について

濃厚接触者の特定や待機期間について、改めて、国から通知があったのでお知らせする。濃厚接触者については、岡山市の対応として、大きく4つの区分で対応することとされている。

(1) 同一世帯内に感染者が発生した場合、同居家族の方については、原則、濃厚接触者として、外出自粛を要請している。

(2) 通常の仕事、事業所で感染者が発生した場合、保健所では濃厚接触者の特定は行っていない。発熱等の症状が出た場合は、会社を休み、医療機関の受診をお願いする。

(3) 医療機関や高齢者施設等で感染者が発生した場合は、濃厚接触者を特定し、必要に応じてPCR検査を行っている。

(4) 学校・保育園等の場合は、濃厚接触者の特定は行っておらず、感染者が発症時に登校登園していた場合、4日間の学級閉鎖、家庭保育の依頼などで対応している。今回の国の通知の内容は、すでに岡山市において対応しているものであり、市の対応についての変更はない。

・濃厚接触者の待機期間について

濃厚接触者の待機期間については、これまでに比べ2点変更がある。

1つ目、抗原検査キットを用いて、4日目及び5日目に陰性確認をした場合の5日目の復帰について、これまでは社会機能維持者だけとされていたが、それ以外の方にも適用できることとなった。

2つ目、高齢者施設など重症化リスクの高い方が多数入所する施設、学校園等の従事者については、他の従事者との代替が困難であることやワクチン接種済であること等の一定の条件下、無症状の従事者について、毎日、抗原定性検査キットを用いた検査により、陰性を確認した場合、業務従事が可能となった。いずれの場合も、抗原検査キットによる検査は自主検査として、実施する方の費用で行うこととなっている。

・3月16日付け、厚労省通知

厚労省通知資料の一部を参考として添付している。

・ワクチンの3回目接種の状況について

3月15日までに接種券を送付した人が、35万9000人、そのうち追加接種完了が、3月15日時点で24万8000人、これは接種券送付済みの69.2%、12歳未満を含む市内全人口の35.2%に当たる。

高齢者では、接種券送付済みの88.2%、市内の高齢者人口比率では78.1%の方の接種が完了しており、希望する方への接種は順調に進んでいると考えている。

・市の集団接種会場と、今後の接種券送付について

市の集団接種会場は3月24日（木）から岡山高島屋会場で再開する。現時点では、まだ、毎日100枠以上の空きがあるので、積極的な接種をお願いします。また、空き枠を活用した予約無し接種も行っている。当日の空き状況をホームページなどでご確認の上、ご活用いただきたい。

今後の接種券の送付予定については、64歳以下の方が中心となる。接種券が届き次第、予約・接種が可能となる。

・小児接種について

先週の3月11日から接種を開始し、3月15日までに371人が接種。医療機関へのワクチン配送量から推計すると、24日までに約2,600人が接種を受ける見込み。

予約開始直後、小児科等の医療機関が当初設定していた予約枠がほぼ埋まったことから、希望者への接種が順調に進むよう、医療機関に対して春休み期間を中心とした予約枠の拡大等と呼び掛けたところ。接種するかどうかについてはご家庭でよくご検討いただきたい。

[保健所長]

多大な協力をいただいている各局にお礼を申し上げます。

現在、幸い患者数は順調とは言えないものの減少傾向にある。まん防終了後、今週のアドバイザーボードに示された岡山市の人流、滞留人口は著しい増加を示しているため、今後も患者の増減について、注視してまいります。引き続きご支援をお願いします。

(2) 学校教育活動・学校施設開放事業について【教育委員会】

[教育長]

現在の岡山市の感染状況の中で、感染者数が減少傾向にあり、児童生徒においても同様の傾向が見られることから、3月19日以降の学校教育活動・学校施設開放事業について以下の点について変更するもの。

・学校教育活動について

休止していた部活動については、異年齢の交流の中で授業や学校行事などでは得られない貴重な体験ができたり、生徒同士や教員と生徒の人間関係の構築が図られたりするなど多

くの教育的意義がある。したがって、現在感染者数の減少傾向にあることから、活動する範囲を原則校内として再開することとする。

ただし、活動を休止していた期間が長期であったため、当面の間は、十分な準備運動を行うとともに、体への過度な負担がかかる運動を避けたり、短時間の活動としたりするなど、けがや事故防止のための対策を十分とった上での、活動再開とする。

校内での活動となるが、これまで同様に上位大会につながる公式戦や大会への参加については、主催者の感染防止のためのガイドラインを遵守するとともに、感染防止対策を講じた上で可能としている。

・学校施設開放事業について

部活動の再開に伴い、中止していた学校施設開放についても、再開することとする。

・継続する取り組み

授業における感染リスクの高い学習活動を行わないことや、学校行事等の延期または中止については、今後も当面の間継続することとする。

「家庭への協力のお願ひ」についても継続する。

(3) 路線バス・路面電車の運賃無料 DAY について【都市整備局】

[都市・交通・公園担当局長]

昨年の11月28日(日)と12月10日(金)に実施した路線バス・路面電車の運賃無料 DAY については、年度内に3回目の実施を検討していたが、新型コロナウイルスの新規感染者数は減少傾向にあるものの、依然として高い水準にあることから、今年度の実施は見送ることとした。

運賃無料 DAY については、2回の実施を通じて、公共交通の利用者数が休日で2.4倍になるなど大幅に増加するだけでなく、天満屋や高島屋といった大型商業施設の来店者数が前年同期比で約40%増加し、中心部の通行人数や滞在人数も増加するなど、中心部全体で回遊性が向上し、消費需要の喚起に寄与する施策であることが確認できた。

こうしたことから、運賃無料 DAY の実施については、来年度、改めて検討していきたいと考えている。

5 本部長まとめ

新規感染者数は減少傾向だが、オミクロン株は感染拡大の速度が非常に早いことから、減少スピードが緩やかで、高止まりの状況にある。今後、人流増加に伴う、感染者の再増加に警戒が必要である。

国の専門家会議では、オミクロン株の特性を踏まえ、効率的な保健所業務の実施や、対策の最適化が求められている。

また、多くの自宅療養者を適切に医療につなげていくには、健康観察・診療を継続して行う体制

を構築することも重要である。

このため、これまで保健所が原則毎日行っていた自宅療養者への健康観察を、原則、医療機関が行うこととした。医療機関が健康観察を実施できない場合は、保健所が引き続き行う。

陽性者の病状等に応じて健康観察の頻度が変わるが、これまでどおり、不安な場合や相談があれば、岡山市受診・相談センターにお問い合わせいただきたい。

国から濃厚接触者の特定範囲等が示されたが、すでに岡山市においては運用中のものであり、引き続き、重症化リスクの高い方を優先的に対応していく。

ワクチン接種については、3 回目接種は順調に推移しており、高齢者の8割弱の接種が完了した。今後は64歳以下の方の接種が中心となってくる見込みである。市の集団接種会場では、空き枠を有効活用するための予約無し接種をこれからも続けていく。

5歳から11歳の小児接種は3月11日から接種を開始し、3月15日までに接種した人は371名。24日までに約2,600人が接種を受ける見込みである。

当初設定していた小児接種の予約枠がほぼ埋まったことから、接種希望者への接種が円滑に進むよう、医療機関に対して予約枠の拡大等と呼び掛けたところ。引き続き、接種するかどうかについてご家庭でよくご検討いただきたい。

休止していた部活動については、授業や学校行事などでは得られない貴重な体験や人間関係の構築が図られたりするなど、子供の成長に関わる多くの教育的意義がある。感染者数も減少傾向にあることから、3月19日（土）から、原則校内の活動として、再開する。

併せて、学校開放事業も同日から再開する。

感染が収まりきらない状況の中、明日からの3連休、そして年度末から年度初めにかけて、卒業式・春休み・お花見等、人の動きが増え、人が集まる機会が増える時期を迎える。

市民の皆様には、外出の際は、混雑した場所や換気が悪く大人数・大声を出すような感染リスクの高い場面・場所を避けていただくとともに、重症化予防・発症予防、さらに周囲の人々への感染を防ぐため、ワクチンの追加接種を早めに済ませていただくようよろしくお願いいたします。

第56回新型コロナウイルス感染症対策本部会議

日 時：令和4年3月18日（金）
14時10分～14時40分
場 所：本庁3階 第三会議室

次 第

1 開 会

2 議 題

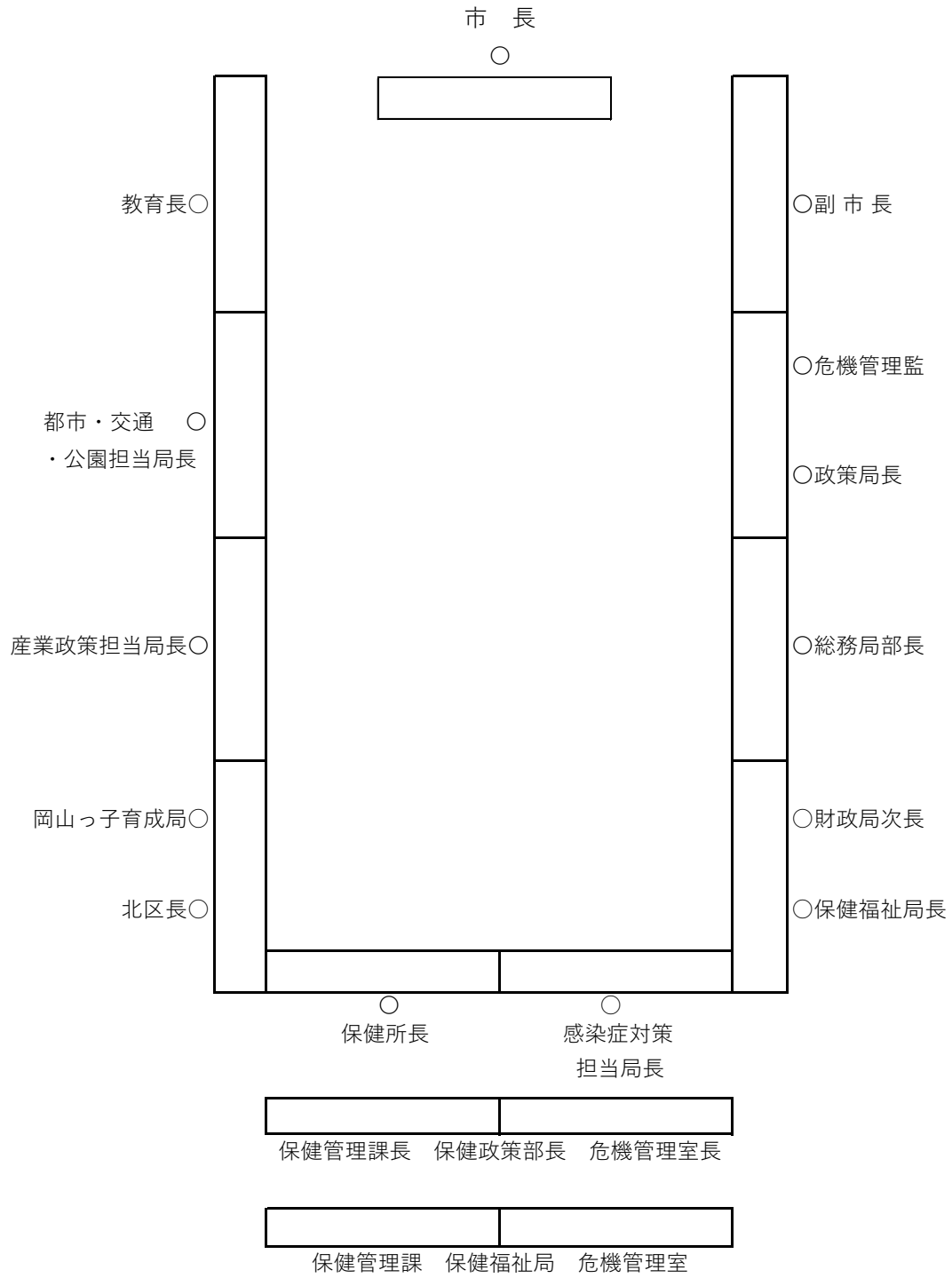
(1) 現時点における対応状況等について担当局から報告

- ① 保健福祉局
- ② 教育委員会
- ③ 都市整備局

(2) その他

3 閉 会

新型コロナウイルス感染症対策本部会議配席図
(R4.3.18 第56回)



【岡山市】感染状況・療養状況の分析(令和4年3月13日時点)

令和4年3月18日
第56回新型コロナウイルス
感染症対策本部会議資料
保健福祉局

区分	モニタリング項目 過去1週間合計(月曜日～日曜日)	前回の数値 (3月6日時点)	現在の数値 (3月13日時点)	前回との 比較	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	1,886人 (269.4人)	1,562人 (223.1人)	↓
		60歳以上 (総数に占める割合)	172人 (9.2%)	120人 (7.7%)	↓
	②区別 新規陽性者数	北区	524人 (判明分のみ)	521人 (判明分のみ)	—
		中区	431人 (判明分のみ)	272人 (判明分のみ)	—
		東区	362人 (判明分のみ)	176人 (判明分のみ)	—
		南区	270人 (判明分のみ)	320人 (判明分のみ)	—
③新規陽性者における 接触歴不明者	数	866人 (判明分のみ)	669人 (判明分のみ)	—	
	割合(③/①)	53% (判明分のみ)	43% (判明分のみ)	—	
④PCR検査数と陽性率(速報値)		7,218件 (26.1%)	5,638件 (27.6%)	→	
療養状況	⑤入院患者数	85人	59人	↓	
	⑥宿泊療養者数	61人	42人	↓	
	⑦自宅療養者数	1,867人	1,561人	↓	
	⑧療養者数(人口10万人当たり)	287.6人	237.4人	↓	

総括コメント

**多数の感染者が発生
最大限の警戒が必要**

警戒レベル



新規陽性者数、60歳以上の割合はともに減少も、減少スピードが緩やかで、高止まりの状況になっている。

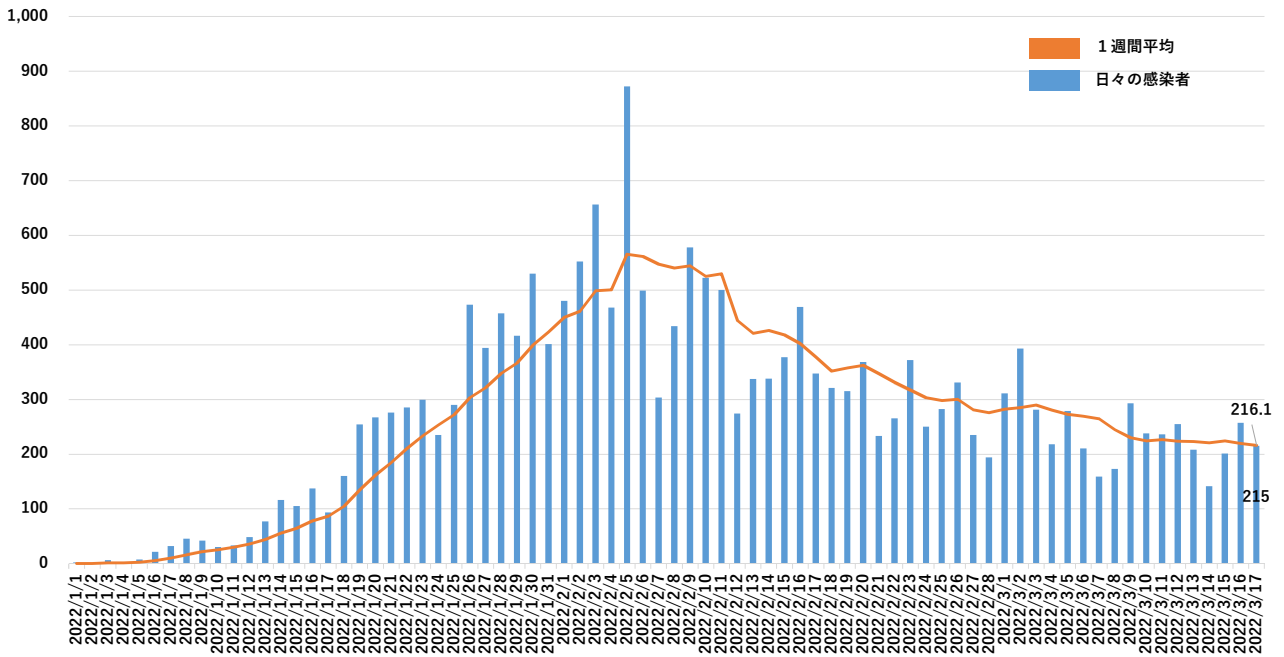
しばらくの間、新規感染者数が高いレベルで推移していくことが予想される。

これからの年度末に向けて、多くの人が集まる機会が増えるため、感染者が再び増加することが懸念される。

基本的感染防止対策の徹底やワクチン接種が必要である。

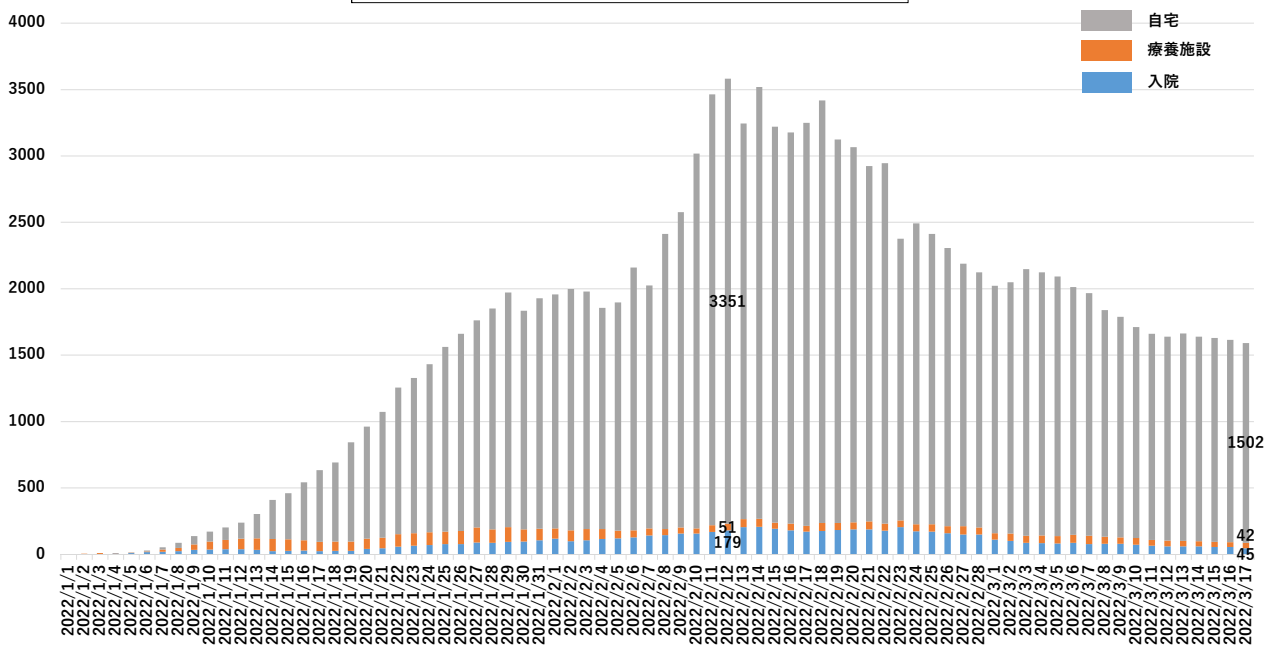
これまでの感染者の推移

R4.1.1~R4.3.17発表分まで



感染者の療養状況（発表日別）

R4.1.1~R4.3.17発表分まで

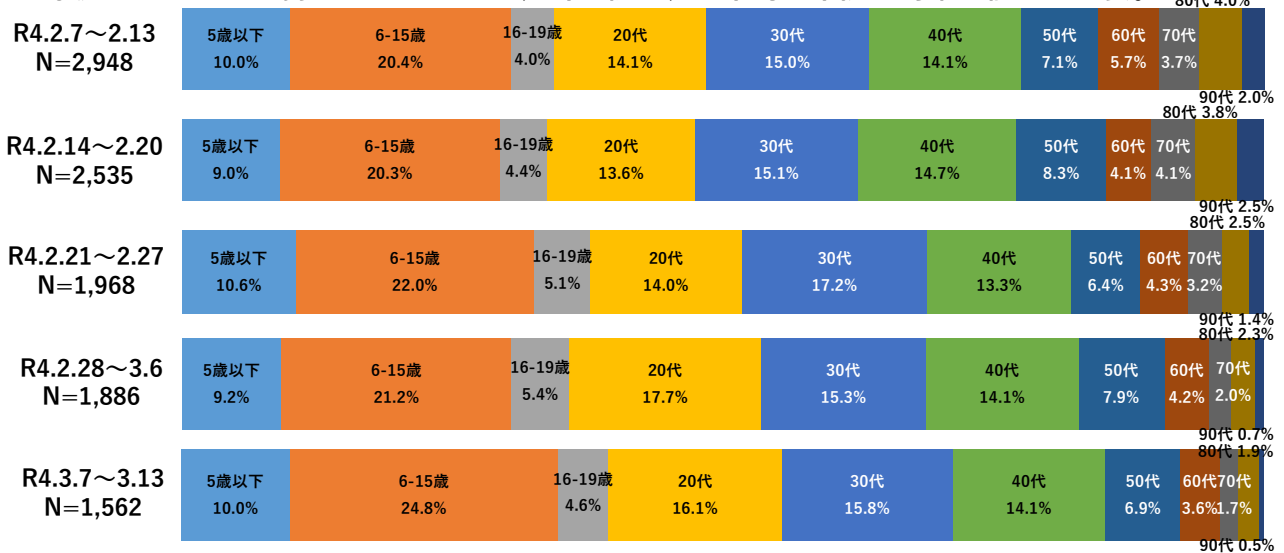


感染者の年代の比較

R4.3.13発表分まで

感染者数は減少しているものの6～15歳の感染割合は増加。高齢者は減少している。
人流増加に伴う、20代、30代の感染割合の動向に注意が必要。

家庭にウイルスを持ち込まないよう、引き続き、基本的感染防止対策の徹底が必要。



保健所の体制について

	応援フェーズⅠ	応援フェーズⅡ	応援フェーズⅢ	応援フェーズⅣ	応援フェーズⅤ	応援フェーズⅥ
フェーズの移行基準	直近1週間平均の1日当たり人数 ①新規感染者 15人以下 ②自宅療養者 50人以下	直近1週間平均の1日当たり人数 ①新規感染者 16～30人 ②自宅療養者 51～100人 いずれかの平均値が達した場合	直近1週間平均の1日当たり人数 ①新規感染者 31～50人 ②自宅療養者 101～200人 いずれかの平均値が達した場合	直近1週間平均の1日当たり人数 ①新規感染者 51人～150人 ②自宅療養者 201人～800人 いずれかの平均値が達した場合	直近1週間平均の1日当たり人数 ①新規感染者 151人～300人 ②自宅療養者 801人～1600人 いずれかの平均値が達した場合	直近1週間平均の1日当たり人数 ①新規感染者 301人以上 ②自宅療養者 1601人以上 いずれかの平均値が達した場合
体制整備に必要な人員 (保健所職員、全庁応援、外部人材を含む。)	110人	122人	146人	168人	199人	240人
業務等	○受診・相談センター ○感染者、濃厚接触者、自宅療養者への対応 ○PCR検査の実施など					

新型コロナの自宅療養者への健康観察の変更について

令和4年3月18日
保健管理課

自宅療養者への対応の現状

保健所による健康観察を原則毎日実施

自宅療養の対象者：軽症または無症状であって、重症化リスクが低く入院治療等を必要としない方

- ① **自宅療養者数 = 約1,500人** (3月15日時点)
2月上旬は一時期3,000人を超過
- ② **オミクロン株の特徴 = 感染力強、軽症者多**
今年年1月以降、感染者の98.5%は軽症
重症化リスク高い方は初めから入院
(自宅療養中に入院となるのは数日に1件程度)

- ③ **健康観察の頻度 = 原則として毎日**
入院治療等が必要となれば病院・宿泊療養へ移行
- ④ **健康観察の実施者 = 応援職員・医療機関**
全庁からの応援職員 約35~55人 (1日あたり)
(公民館・図書館を含め交代制により対応)
健康観察を実施可能な医療機関 約120か所

【国（厚生労働省）からの通知】

- 健康観察は毎日1回を目安とするも、**患者状態等に応じ柔軟に対応**(R2.4.2通知)
- 地域の実情に応じ**重症化リスクの高い陽性者を重点的に対応することが可能**(R4.2.9通知)
- 健康観察・診療を行う医療機関等の拡充を進めること**(R4.3.2通知)

【健康観察実施の医療機関の声】

「毎日行う必要があるほどの療養者はいなかった。体調に変化があった場合に本人から連絡があれば対応できる」等

今後（R4.4.1以降届出があった陽性者）の健康観察対応

👉 **医療機関が自宅療養者の病状・年代・基礎疾患の有無等に応じ健康観察の頻度※を決定し、健康観察と必要に応じ診療を実施**

※例えば、①一人暮らしの高齢者には毎日行う。②若い軽症者で同居家族がいる場合には、体調に変化があった場合に本人や家族から医療機関に連絡するよう、あらかじめ説明しておき、医療機関から連絡は行わない場合などが考えられる。

👉 **医療機関が実施できない場合は保健所が実施**

医療機関から健康観察を実施している陽性者で保健所への相談等を希望する場合、新型コロナウイルス受診相談センターで対応可能

PCR 検査等を受検された方へのお知らせ（案）

受検後、医療機関から「陽性」報告があった場合は、以下

をご確認いただき、外出せず、自宅待機をお願いします。

- ① 医療機関から提出される発生届に基づき、岡山市に居住している方に、岡山市保健所が順次電話連絡を行います。

※ご連絡までに時間を要することがあります。

息苦しさなどの体調悪化や緊急連絡が必要な場合は、岡山市新型コロナウイルス受診相談センター（電話 086-803-1360）へご連絡ください。急激な呼吸困難など一刻を争うと判断した場合には、救急搬送の要請（119 番）をお願いします。

- ② 症状等により、岡山市保健所が療養先（入院・宿泊療養・自宅療養）と療養期間を決定しお知らせします。

※軽症であればほとんどの方が自宅療養となっています。

※療養期間は発症日から 10 日程度（無症状の場合は、検体採取日から 7 日間）です。詳しくは下記をご覧ください。

<https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000030412.html>



- ③ 自宅療養となった場合、診断医療機関もしくは岡山市保健所が体調を確認し健康観察を行います。

※健康観察の頻度や方法は、病状等に応じて療養者毎に異なります。

毎日連絡があるわけではありません。若く軽症の方などには、症状が悪化した場合に医療機関に電話するよう、予め説明しておき、医療機関等からの連絡は行わない場合もあります。

※症状がつかく、医療機関受診（電話受診等）をご希望される方は、かかりつけ医や診断を受けた医療機関に、受診や処方についてご相談ください。受診先が見つからない場合には、岡山市新型コロナウイルス受診相談センター（電話 086-803-1360）にご相談ください。

同居家族の方へのお知らせ（案）

PCR 検査等を受検されたご家族の方が陽性となった場合、近日中に、岡山市保健所から陽性者本人に電話連絡がありますが、同居家族の方についても、以下に注意して、自宅待機をお願いします。

●外出自粛と健康観察について

同居家族の方は、その後、自らPCR検査等を受検されて陰性となった場合でも、新型コロナウイルス感染症患者と最後に接触があった日の翌日から、原則7日間（8日目に解除）は、以下に留意して、外出の自粛と健康観察をお願いします。

※ただし、自費で、4日目及び5日目に抗原検査キットで検査を行い、陰性を確認した場合は、5日目に解除となります。

※医療従事者や高齢者施設等の従業員の方は、一定の条件のもと、従事可能な場合がありますので、所属する事業所にお問い合わせください。

- ・1日2回（朝・夕）体温測定をして、ご自身で症状の有無を確認してください。
- ・高熱や咳が出始めるなど体調が悪化した場合には、直接医療機関には行かずかかりつけ医に電話で相談いただくか、受診先をお探しの方は『岡山市新型コロナウイルス受診相談センター』

086-803-1360 へお電話ください。

（平日の午前9時から午後9時、土日祝日の午前9時から午後5時。
それ以外の時間は留守番電話の案内メッセージに従ってください）。

令和4年4月1日時点

濃厚接触者の特定について

R4.3.16以降

感染者の発生場所	国の通知	岡山市の対応※
(1) 同一世帯内	保健所等は、濃厚接触者を特定し、行動制限を求める。	同居家族は原則、濃厚接触者とし、外出自粛を要請。
(2) 事業所等 ((3)(4)を除く)	保健所等は、一律に濃厚接触者を特定し、行動制限を求める必要はない。	濃厚接触者の特定は行わない。
(3) 入院医療機関、高齢者・障害児者入所施設	都道府県等は、濃厚接触者を特定し、行動制限を求める。	濃厚接触者の特定を行い、必要に応じて、PCR検査を実施。
(4) 保育所、幼稚園、小学校等	濃厚接触者の特定・行動制限は、自治体ごとに方針を決定する。	濃厚接触者の特定は行わず、4日間の学級閉鎖を行う。

※現行どおりの運用

濃厚接触者の待機期間について

R4.3.16以降

(1) 通常の場合 (原則)

陽性者の濃厚接触者

7日間

無症状の濃厚接触者に、抗原定性検査キット※1を用い、最終接触日から4日目と5日目にそれぞれ行い、陰性であることが確認されている場合

5日間

感染者の同居家族の待機期間は、感染者の発症日（無症状者は検体採取日）または家庭での感染対策※2開始日のいずれか遅い方の翌日から7日間

※2 ここで言う感染対策は、日常生活を送る上で可能な範囲での、マスク着用、手洗い・手指消毒の実施、物資等の共有を避ける、消毒等の実施などの対策で、厳格な隔離（部屋を分けての生活）等を求めるものではありません。

(2) 高齢者施設など重症化リスクの高い方が多数入所する施設、学校園等の従事者

一定の条件（他の従事者との代替が困難、ワクチン接種済等）の下、無症状の従事者に、毎日、抗原定性検査キット※1を用いた検査により、陰性を確認した場合

業務従事が可能

※1 薬事承認されたものに限ります。また、当該検査は自主検査として、実施される方の費用負担で行います。

※学校・仕事へ復帰するための隔離解除の証明書等の提出は不要なため、医療機関や保健所へ各種証明書等の作成を求めることは控えてください。

オミクロン株の特徴を踏まえた濃厚接触者の特定・行動制限及び積極的疫学調査について

【参考資料】
R4.3.16
厚労省事務連絡

- オミクロン株の特徴（潜伏期間・発症間隔が短い）を踏まえ、オミクロン株が主流の間は、自治体における濃厚接触者の特定・行動制限及び積極的疫学調査について、以下のとおり実施することとする。
- なお、保健所による対応が可能な自治体において、引き続き幅広く濃厚接触者の特定等を行うことを妨げない。
 - ※ 新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、国民ひとりひとりが基本的な感染予防対策を徹底することが重要。
 - ※ 特に、オミクロン株の特徴も踏まえれば、症状がある場合などには、保健所による濃厚接触者の特定等を待つことなく、出勤、登校等の自粛を含めた感染防止対策を自主的に講じることが重要。

1. 濃厚接触者の特定・行動制限待機期間の見直し（主な内容）

（1）同一世帯内で感染者が発生した場合

- 保健所等は、濃厚接触者を特定し、行動制限を求める。
- 待機期間は、原則7日間（8日目解除）だが、社会機能維持者か否かにかかわらず、4・5日目の抗原定性検査キットで陰性確認後、5日目から解除を可能（7日間は、検温など自身による健康状態の確認等を求める。）とする。（（3）（4）においても適用可）

（2）事業所等で感染者が発生した場合（（3）（4）の場合を除く）

- 保健所等は、一律に濃厚接触者を特定し、行動制限を求める必要はない。
- 事業所等は、感染者と接触があったことのみを理由として、出勤を含む外出を制限する必要はない。
- 事業所等で陽性者と接触があった者は、高齢者等との接触や感染リスクの高い行動を控える。

（3）入院医療機関、高齢者・障害児者入所施設で感染者が発生した場合

- 都道府県等は、濃厚接触者を特定し、行動制限を求める。
- 濃厚接触者となった従事者は、待機期間中においても、一定の条件の下、毎日の検査による陰性確認によって、業務従事を可能とする。

（4）保育所、幼稚園、小学校等で感染者が発生した場合

- 濃厚接触者の特定・行動制限は、保健衛生部局と児童福祉部局等が連携して、自治体ごとに方針を決定する。
- 濃厚接触者となった従事者は、待機期間中においても、一定の条件の下、毎日の検査による陰性確認によって、業務従事を可能とする。

2. 積極的疫学調査の見直し（主な内容）

- 重症化リスクが高い高齢者等の命と健康を守るため、積極的疫学調査は、入院医療機関、高齢者・障害児者入所施設に集中的に実施する。
- 入院医療機関・高齢者・障害児者入所施設については、感染発生初期段階で当該施設からの報告を求め、迅速に調査を実施する。

新型コロナワクチンの追加接種（3回目接種）の状況について

現状

- 2回目接種完了から6カ月以上経過する18歳以上の人を対象に、月2回、接種券を発送
- 3月15日には、3.4万人に発送（令和3年9月1日～15日に2回目を接種した人）
- 接種券送付済人数 **35.9万人（3月15日時点）**
- 追加接種の完了人数 **24.8万人（3月15日時点）**
- 進捗率 … **69.2%**（接種券の送付済人数対比） **35.2%**（市内全人口対比）
- うち、高齢者（65歳以上）の進捗率 … **88.2%**（接種券の送付済人数対比） **78.1%**（市内全人口対比）

集団接種会場について

岡山市集団接種会場の空き枠状況 （岡山高島屋会場）1日540枠

○…100枠以上
△…1-99枠
×…接種枠なし

	3月							
	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
種類	ファイザー	モデルナ	ファイザー	モデルナ	モデルナ	ファイザー	モデルナ	ファイザー
空き状況	○	○	○	○	○	○	○	○

※予約の空き枠を活用した「予約なし接種」は継続実施

接種券送付について

- 下表の日程で接種券を送付
（4月以降は、64歳以下への接種が多くを占める）

2回目接種	接種券送付時期	送付数
令和3年9月16日～30日	令和4年3月31日(木)	4.7万人
令和3年10月1日～15日	令和4年4月15日(金)	3.3万人
令和3年10月16日～31日	令和4年4月28日(木)	4.1万人
令和3年11月1日～15日	令和4年5月16日(月)	3.1万人
令和3年11月16日～30日	令和4年5月31日(火)	1.3万人
令和3年12月1日～15日	令和4年6月15日(水)	0.4万人

小児接種について

- 3月7日（月）に接種券を発送、3月11日（金）から接種開始。対象は4.4万人
- 3月15日時点で371人が接種。3月24日までに、約2,600人に接種見込み（医療機関へのワクチン配送量から推計）
- 予約開始直後に予約枠がほぼ埋まったことから、希望者への接種が円滑に進む体制を充実させるため、医療機関へ予約枠の拡大等呼びかけ

新型コロナワクチン接種数（3回目実績）について

令和4年3月15日時点入力済み数値（保健管理課集計）

区 分	①対象者数 (人口)	②対象者数 (接種券送付済者)	③3回目接種回数	対人口進捗率 =③/①	対接種券送付者進捗 率=③/②
【高 齢 者】 65歳以上	195,000人	172,686人	152,296人	78.1%	88.2%
60歳以上65歳未満	39,000人	30,058人	19,914人	51.1%	66.3%
50歳以上60歳未満	93,000人	50,679人	26,186人	28.2%	51.7%
40歳以上50歳未満	101,000人	45,591人	21,662人	21.4%	47.5%
30歳以上40歳未満	81,000人	28,413人	14,834人	18.3%	52.2%
20歳以上30歳未満	77,000人	28,256人	12,713人	16.5%	45.0%
12歳以上20歳未満	53,000人	3,354人	888人	1.7%	26.5%
合 計	639,000人	359,037人	248,493人	38.9%	69.2%
【12歳未満を含む全人口に対する接種率】	706,000人	-	248,493人	35.2%	-

- 1 接種回数の数値はワクチン接種記録システム（VRS）のデータによる
- 2 対象者数はR3.4.1時点の住基人口、年齢区分はR4.4.1時点の年齢による。なお、対象外の12歳未満は67,000人
- 3 12歳以上20歳未満の欄の①対象者数（人口）53,000人には、1・2回目接種対象者の12歳以上18歳未満も含んでいる。

3月19日以降の学校教育活動・学校施設開放事業について

感染者数が減少傾向にあり、児童生徒においても同様の傾向が見られることから、以下の対応について、3月19日以降変更する。

【学校教育活動について】

○部活動については、再開し、原則校内での活動とする。

※上位大会につながる公式戦・大会への参加については、主催者の感染防止のためのガイドラインを遵守するとともに、感染防止対策を講じた上で可能とする。

【学校施設開放事業について】

○部活動の再開に伴い、学校施設開放については再開する。

<継続するもの>

- 授業においては、音楽の合唱等、感染リスクの高い学習活動は、行わないこととする。
- 校外行事（宿泊を伴う行事を含む）や学習発表会等の校内行事は、延期または、中止とする。

(家庭への協力をお願い)

- ・児童生徒に発熱等風邪症状が出た場合は、無理をせず、早めに医療機関等を受診していただきたい。
- ・同居する家族に、発熱等風邪症状がある場合や風邪症状を理由にPCR検査を受けている場合等は、その症状が回復するまでは登校について控えるようお願いしたい。